へ14
2684
1
へ14
2684
2

古せんぐ葉

初編上

へ14
2684
1

特
14
2684
1

阿玉ヶ池
櫛月形

上の巻

山々亭有人作
一陽齋豊國画

帝国文庫

菊岡が江戸砂子に仔細に載せる塵芥に漏れたる。茂睦が紫の一本に。見るゆゑもなく見過せば。其菊岡を根分けして。彼紫の趣向を奪ひ。赤本種に砂子の表紙春の夜のさむ御伽ゆゑ。燈臺却て原暗き。江戸の古跡を微細索ね。誰不忍の池の主に蛇足を添つ山吹の。古事に實のある三編讀切り。初集に例の阿玉ヶ池に。光りを添る意はあるまでど。自己流行變化に合わば。尾鰭に等しきものもあらんか

明治五壬申晩夏稿成
同七甲戌孟春發兌

山々亭有人記

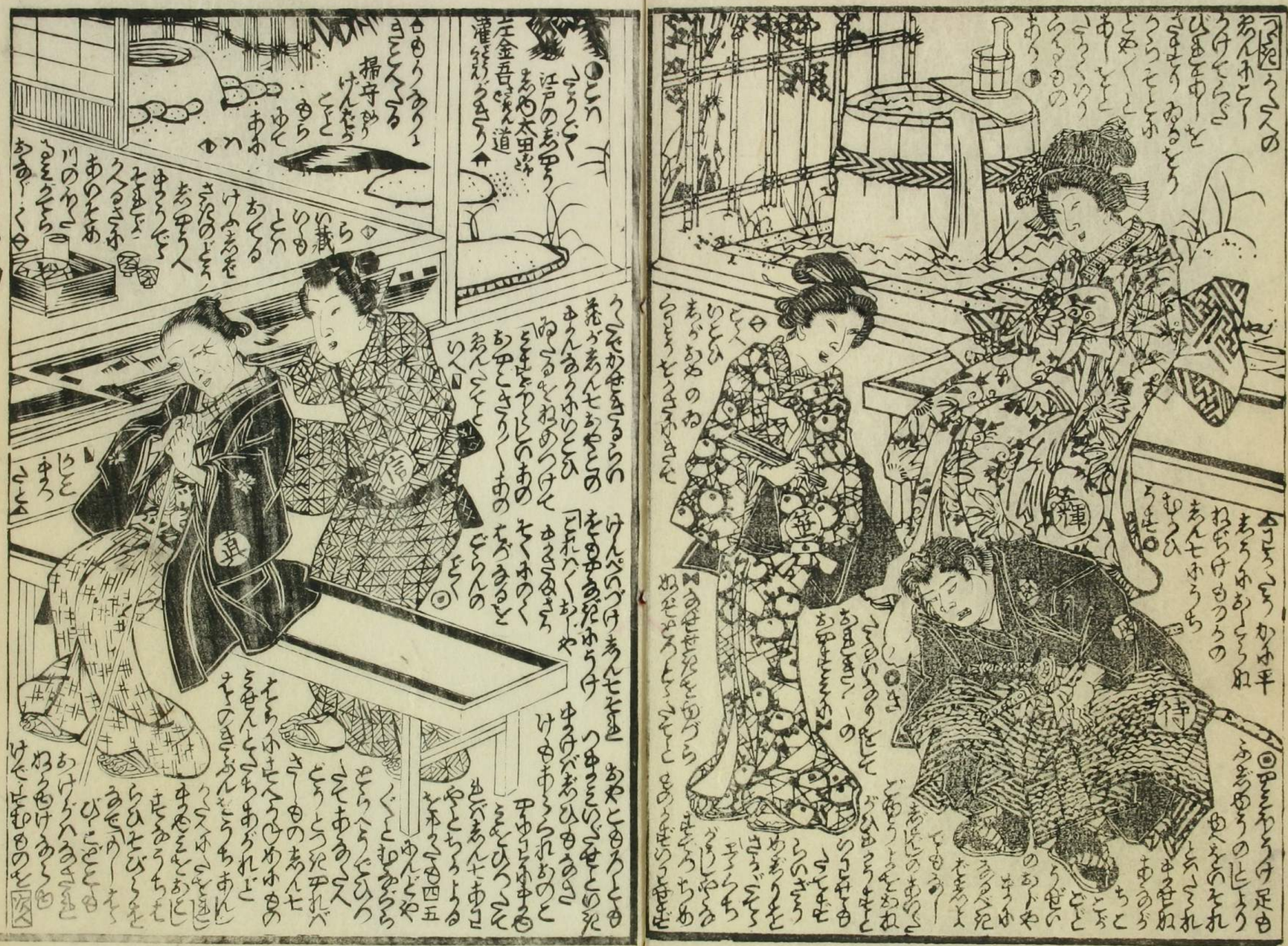
柴崎之称宜
中野隼人
実ハ悪漢
見越胴八

扇谷
定政之臣
外村信七
親慶
神田の里
藍染川の
阿玉

真
信

信
真

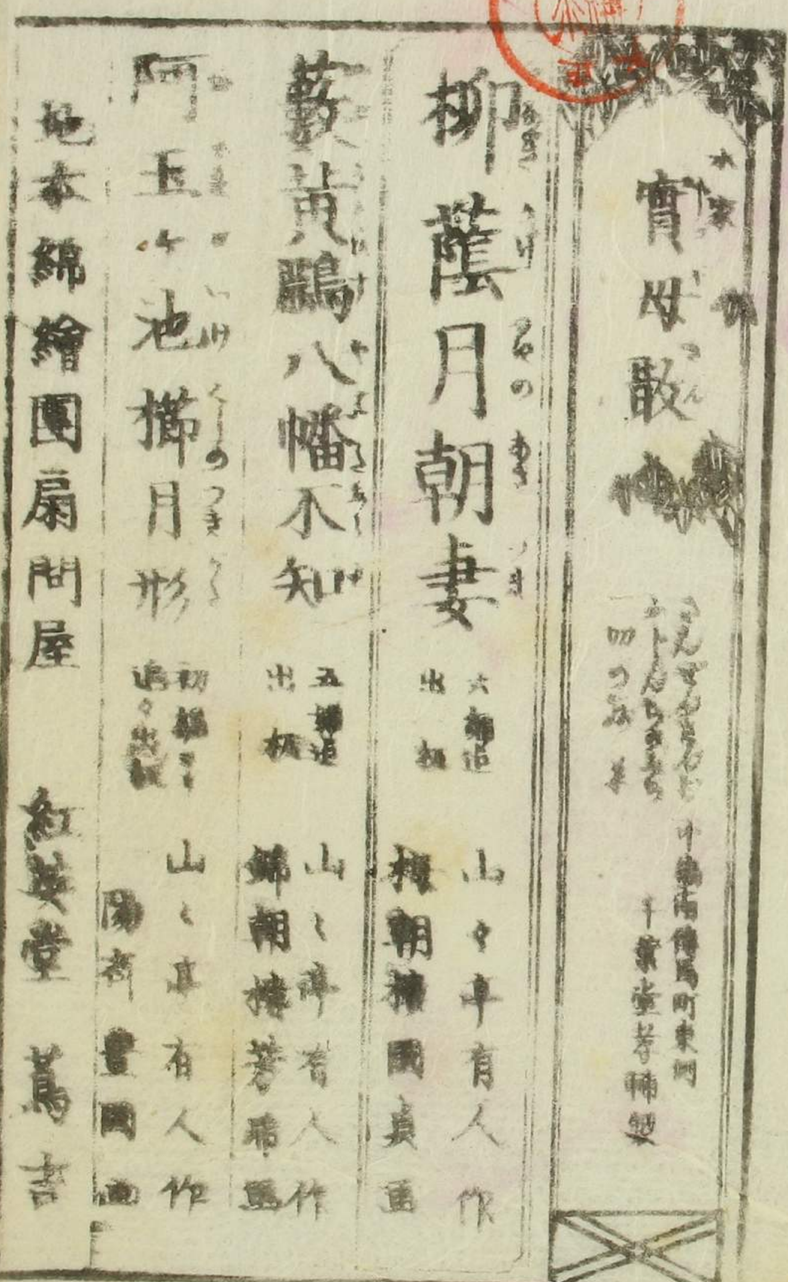
水木歌舞
松賀藤治
信
松林亭柏員
田辺蘭龍
山々亭有太
二陽亭海雲
中尾豫中
義屋玉義
玉
貞



橋屋圓三郎
遊亭圓橋
信
頂

蓮
丸
玉
王
留

有人作豊國画


實母敵
柳蔭月朝妻
山中有人作
月朝横國貞画
藪黄鶯八幡不知
五編出板
山く亭有人作
歸朝横芳虎画
阿玉ヶ池撫月形
初編出板
山く亭有人作
陽斎豊國画
紅英堂 蔦吉

おたまがいけ
くーとつきがうせたきまり
あかきいちやうさしをくみ
えんもとこうえいごこう 春吉
初編下
へ14
2684
2

14
2684
2

お面ものいけ
えしれ
つ業ぐ
きくさく
摸寫せるがく

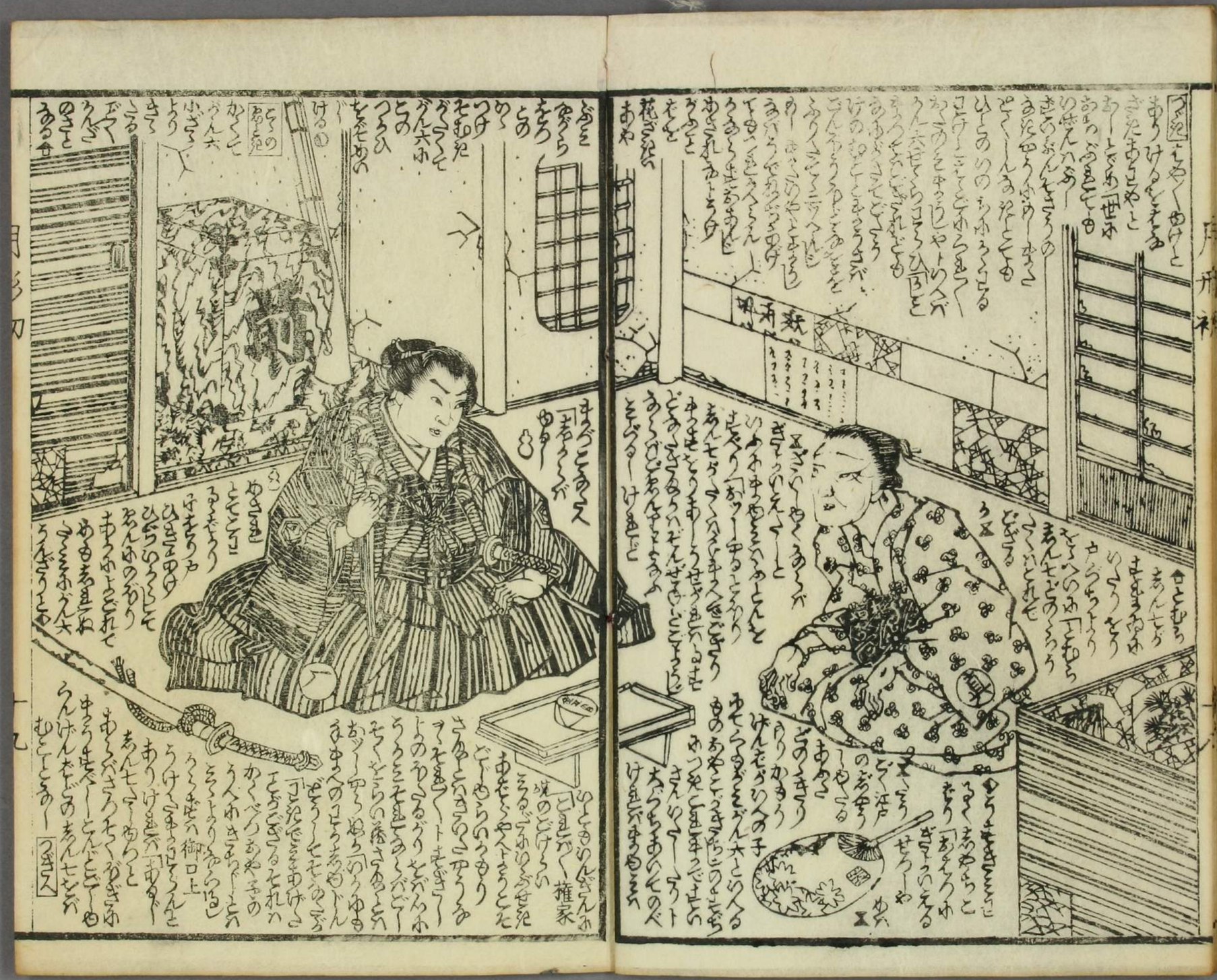
上の巻より

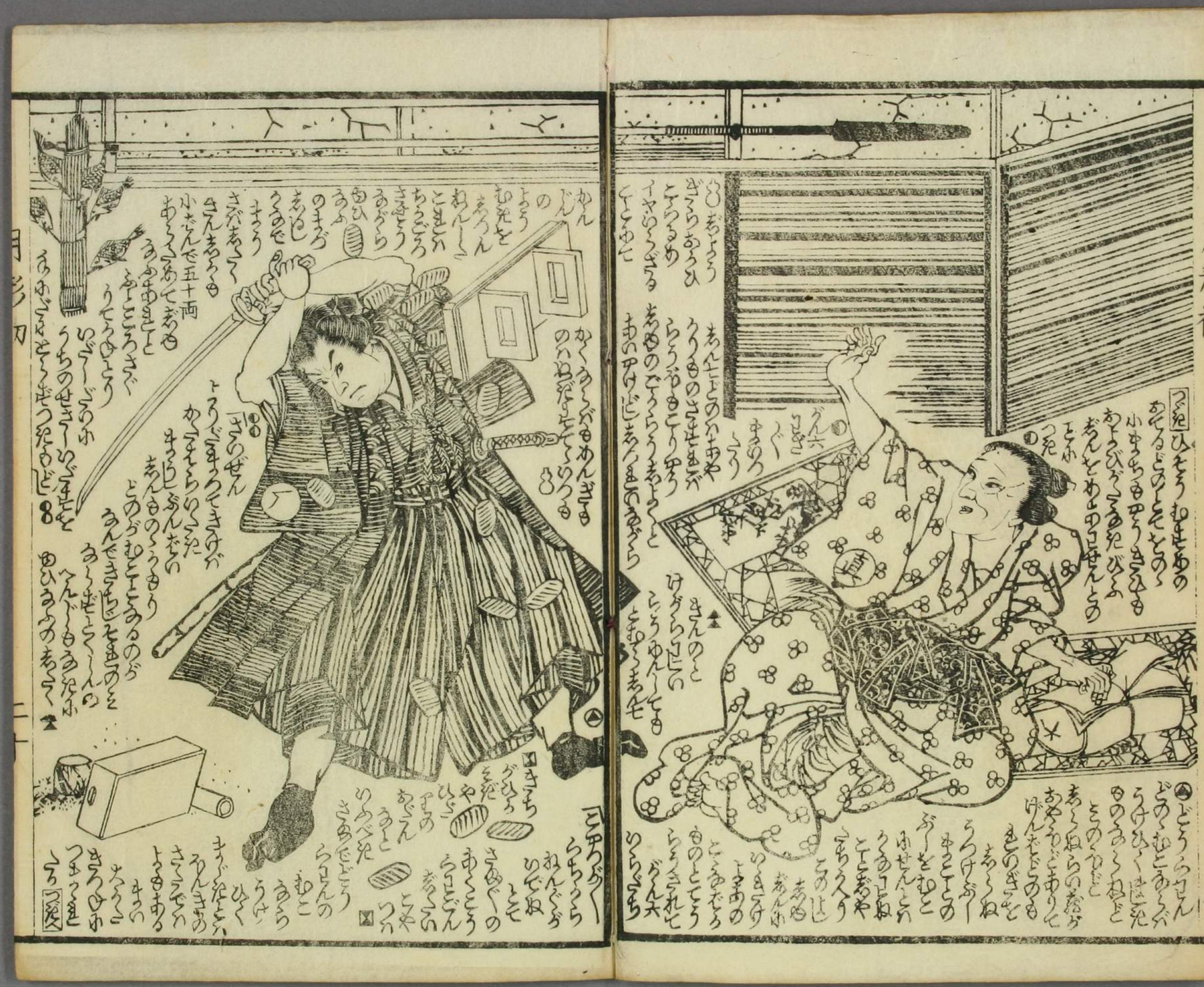
信

信

五

の首藤
の今業
の内宿





弄月亭有人作

香蝶樓豊國画

明治七年甲戌陽春開板標目

厚化粧萬年嶋 八編 春水作 國貞画

新島九尾傳 十二 春水作 出板 國貞画

室町源氏胡蝶春 廿三 種彦作 出板 國貞画

筆海四國聞書 十三 種彦作 出板 國貞画

風祠通夜譚 八編 種彦作 出板 國貞画

明鴉墨画廻禍 十編 種彦作 出板 國貞画

童謡妙々車 二十五 種彦作 出板 國貞画

花村菩玉章 十編 種彦作 出板 國貞画

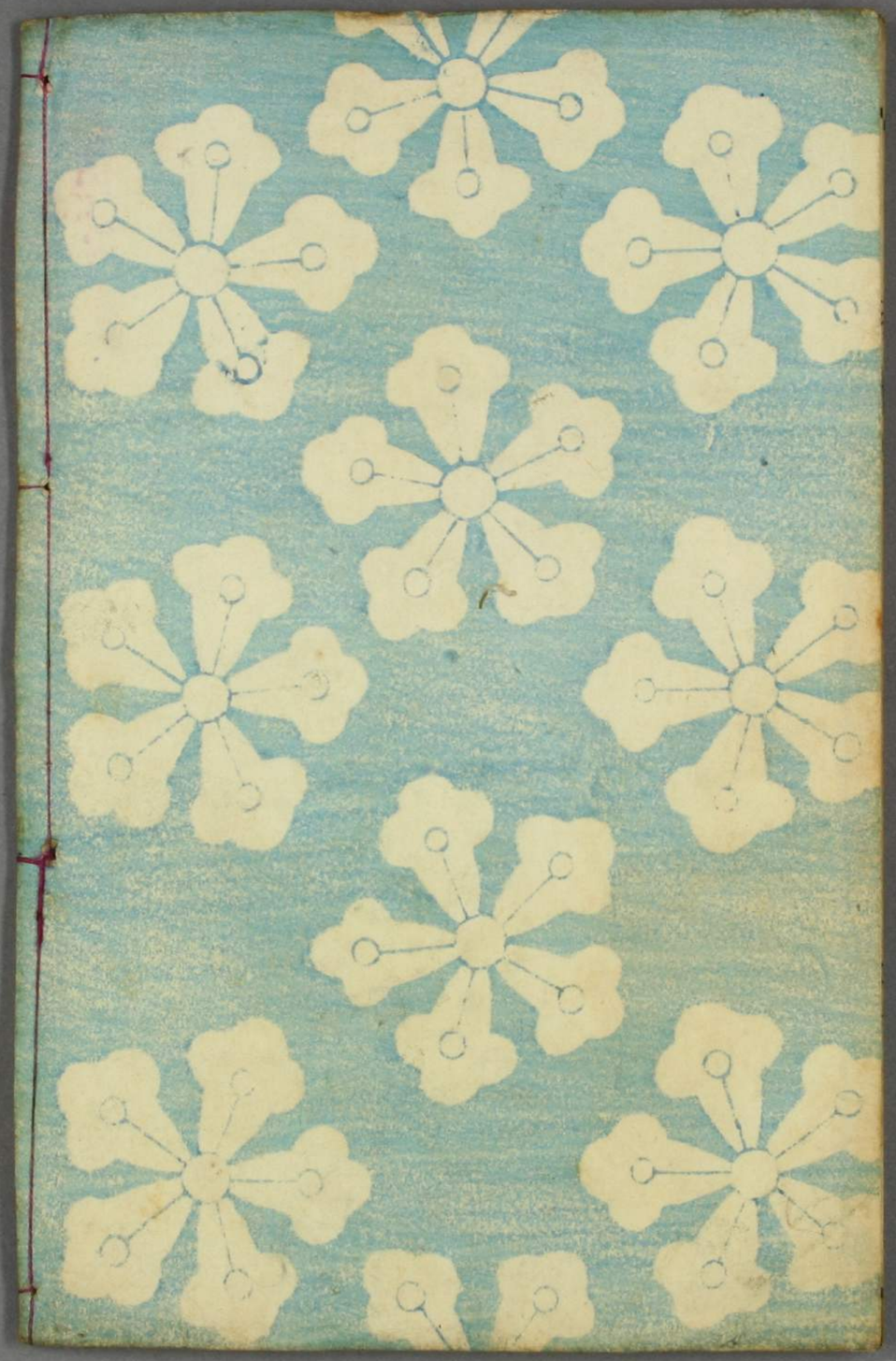
薄倖幼日記 廿近 春水作 出板 國貞画

八犬傳大の反紙 平仁 琴亭作 出板 國政画

七福神葛飾譚 十近 種彦作 出板 國貞画

南傳馬町壹丁目

蔦屋吉藏板



阿玉ヶ池 初篇

有人作豊国画

へ14
2684
1-2